

# 第2期中山間地域創生総合戦略 骨子(案)

参考資料3

## 第1章 総合戦略策定の趣旨等

### 1 総合戦略策定の趣旨

- ・中山間地域は、県土の保全、水源の涵養、自然と触れ合う機会の提供など多面的機能を有している一方、急速な人口減少に伴い集落が空洞化し、地域社会の存在が危ぶまれており、総合的な対策が必要
- ・「富山県中山間地域における持続可能な地域社会の形成に関する条例」の制定(H31.3月)

### 2 総合戦略の位置づけ

- ・条例第6条に基づく戦略

### 3 総合戦略の期間

- ・令和7(2025)年度から令和11(2029)年度(5年間)

### 4 中山間地域の定義(条例第2条)

- ① 振興山村地域 ② 半島振興対策実施地域
- ③ 特定農山村地域 ④ 過疎地域
- ⑤ 指定棚田地域 ⑥ ①～⑤に類する地域

## 第3章 中山間地域を取り巻く新たな動き

### 1 住民主体の地域づくりの広がり

- ・住民主体の地域の話し合い(R1～R5:40地区)とチャレンジの広がり
- ・地域運営組織の形成  
(H30:15組織→R5:72組織)
- ・農村RMOの推進

### 2 田園回帰の潮流

- ・地域おこし協力隊の増加など若い世代を中心とした田園回帰の潮流、移住相談の増加

### 3 多様な働き方の浸透と新たなビジネスへの支援強化

- ・リモートワーク、副業・兼業など働き方の多様化
- ・成長戦略としてのスタートアップへの支援強化

### 4 新しい技術の進展

- ・スマート農業・林業、先進技術を活用した鳥獣被害対策などの取組み
- ・デジタル活用の促進と社会制度の変革

### 5 国の動き

- ・過疎新法制定(R3年度～R12年度)
- ・食料・農業・農村基本法の改正(R6.6.5施行)

## 第6章 総合戦略の推進

- 1 多様な主体の連携による推進
- 2 推進体制と進捗管理

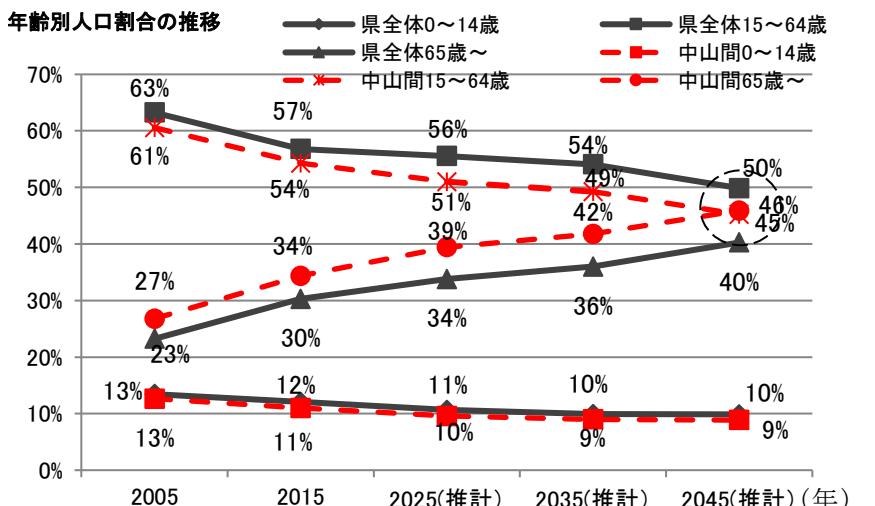
## 第2章 中山間地域の現状と課題

### 1 中山間地域の多面的機能

県土の保全、水源の涵養、自然環境(景観)の保全、文化の伝承 など

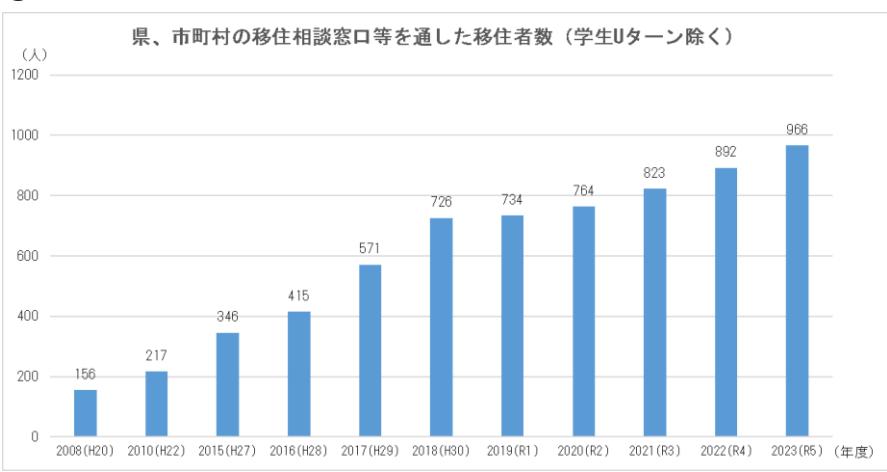
### 2 人口

#### ① 人口の動向



【資料】「国勢調査(総務省)」、「地域の農業を見て・知つて・活かすDB、将推計人口(H30年推計)男女・年齢別人口(農林水産省)」をもとに県中山間地域対策課が作成

#### ② 移住・関係人口



【資料】県地方創生・移住交流課調べ

### 3 生活環境

#### ① 自然環境

- ・広く住民に農産物や水資源等を供給
- ・野生鳥獣の生息数増大、生息域拡大

#### ② 地域交通

- ・新型コロナによる利用減等を背景に令和6年2月に「富山県地域交通戦略」を策定

#### ③ 情報通信

- ・上下100Mbps以上の超高速ブロードバンド基盤の整備が進む  
(世帯カバー率(県全体) R1末: 98.5%)

#### ④ 医療・福祉

- ・県内の無医地区8地区(全て中山間地域)  
→へき地医療拠点病院において巡回診療を実施
- ・全市町村で地域包括ケアシステムを構築

#### ⑤ 空き家

- ・県内の空き家は増加傾向  
(県全体) H30: 6万戸 → R5: 6万9,700戸

### 4 産業

#### ① 産業別就業状況

- ・第1、2次産業の割合が県全体に比べやや高い

#### ② 農業

- ・農業就業人口の減少と高齢化により農地の荒廃が懸念

#### ③ 林業

- ・新規採用者の人数は上昇傾向にあるが、その定着が課題

・戦後植栽されたスギが利用期を迎えており、森林資源の循環利用を推進するため、担い手確保と若返りが必要

#### ④ 観光、商工業

- ・人口減少や高齢化による廃業
- ・魅力ある地域資源のブラッシュアップが必要

県全体に占める中山間地域

人口: 約2割 面積: 約7割

## 第4章 基本方針と総合戦略の目標 / 第5章 具体的な施策の展開⇒次頁

### 中山間地域の目指す姿(案)

### 県民みんなでつくる「持続可能な中山間」

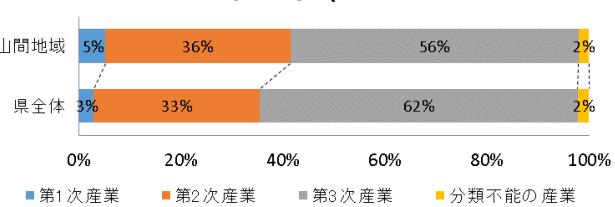
#### ◆ 施策実現のための観点(条例6条)

観点1: 地域のコミュニティの再生、人口の安定及び地域の保全  
(条例第6条第2項第1号)

観点2: 地域経済の活性化促進、若者等の所得の増大  
(条例第6条第2項第2号)

観点3: 生活に必要不可欠なサービスの確保  
(条例第6条第2項第3号)

#### 産業別就業割合(2020年)



【資料】「地域の農業を見て・知つて・活かすDB、産業分類別就業者数(農林水産省)」をもとに県中山間地域対策課が作成

# 第2期中山間地域創生総合戦略 具体的な取組内容（第5章 具体的な施策の展開）

## 施策の方向性

### (1)住民主体の地域づくりの促進

・今後、地域の人口が更に減少し高齢化する。地域の自治力強化のため、住民主体の地域づくりを持续可能な取組みに発展させることが重要である。

・また、若者の地域活動への参画を促すとともに、地域間の連携強化やデジタルの活用による集落機能の補完を図る必要がある。



<チャレンジ支援事業で取り組む食体験イベント(富山市黒瀬谷地域)>

### (2)地域活動への多様な人材の参画促進

・更に地域の担い手は減少し住民だけでは集落機能の維持が困難になる。地域おこし協力隊などの人材の受入れ、企業や中間支援組織との連携など多様な担い手の確保を図る必要がある。

・また、自然環境や食、伝統文化など地域資源を活かした取組みの促進と情報発信の強化、コミュニティビジネスの推進などにより地域の魅力を磨き、交流の活性化から地域活動に関わる移住者や関係人口を創出していく必要がある。



<朝日町バタバタ茶の体験(うみとやまローカルラボ)>

### (3)豊かな自然環境の保全と担い手の確保、育成

・農林業の就業人口減少と高齢化により森林や農村環境の荒廃が懸念される。

・多面的機能を次世代に継承するため、農業・林業を活性化し担い手の確保、育成を図る必要がある。



<里山整備>

### (4)安心・安全な暮らしの確保

・令和6年能登半島地震を受け地域防災力の強化が必要。「富山県地域交通戦略」に基づく地域内モビリティサービスの確保が必要。

・地域の店舗減少のなか、高齢者の買い物支援が必要。



<コミュニティバス>

## 具体的施策の展開

※各項目の横のカタカナ(ア～ク)は、条例第6条第2項の号記号

### 観点1:地域のコミュニティの再生、人口の安定及び地域の保全（条例第6条第2項第1号）

#### ①住民主体の地域づくり(1)(2)…ア～ウ、ク

- ・地域住民による地域課題や将来像等の話し合いやその結果を具体化するための取組みなど、主体的な地域づくりを促進
- ・地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織や集落ネットワーク圏(小さな拠点)の形成など地域間の連携強化
- ・地域づくりの核となる人材や地域おこし協力隊などサポート人材の確保・育成、デジタル活用の推進
- ・ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にしながらコミュニティの再生や地域の活性化で活躍する人材の育成

#### ③移住者や関係人口の創出(2)…エ

- ・本県の魅力ある暮らしや仕事、子育て環境など「くらしたい国、富山」のイメージの定着
- ・若い世代を中心とした移住希望者の獲得に向け、首都圏等での暮らしと仕事の一元的な相談体制を充実
- ・本県出身者への効果的な情報発信強化をはじめ移住促進に向けた取組を強化
- ・域外に居住しながら地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域課題の解決に資する関係人口を創出

#### ④災害に強い地域づくり(4)…キ

- ・防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の組織化、防災士の養成、消防団員の確保などにより地域防災力を強化
- ・治山、治水、土砂災害対策の施設整備と河川水位情報の提供などのソフト対策を着実に推進

### 観点2:地域経済の活性化促進、若者等の所得の増大(条例第6条第2項第2号)

#### ①中山間地農業の活性化(3)…エ

- ・「とやま農業未来カレッジ」の研修内容充実等による担い手の確保、育成
- ・農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積の促進やICTを活用した農作業の省力化
- ・消費者に求められる農産物や薬用植物等の生産を推進
- ・農村RMO形成支援による農用地保全活動や地域資源の活用等の推進
- ・農福連携の推進

#### ②鳥獣被害の防止等(3)…オ

- ・野生生物の適切な保護と管理、狩猟の担い手の確保、育成
- ・イノシシを引き寄せない集落環境づくりなど鳥獣被害を受けにくい地域づくりを推進
- ・捕獲したイノシシ等のジビエとしての利活用を促進

#### ③林業及び木材産業の活性化(3)…カ

- ・高校生等を対象とした林業体験の開催など担い手の確保と現場技能者の育成
- ・主伐による森林資源の加速化を進めるため、面的複層林施業やスマート林業の推進、担い手の育成などによる生産性の向上
- ・安定供給するための生産・流通・加工体制の整備や県産材を使った住宅建築物の促進など木材需要の拡大

#### ⑤交流による地域活性化(2)…イ、ケ

- ・古民家等を活用したカフェ・ホテル等の整備推進
- ・外国人も訪れる魅力的な田園空間を活かした観光宿泊施設の整備推進
- ・観光ガイドや地域づくりをリードする人材等の育成
- ・農山漁村生活体験など都市との多様な交流の推進

#### ④地域の特性を活かした事業の振興(2)…ア、ウ、キ、ク

- ・コミュニティビジネスなど新たなビジネスの創出
- ・農林漁業者の6次産業化など農林水産物のブランド力強化、高付加価値化の支援や農商工連携の推進
- ・小水力発電所の整備など再生可能エネルギー源の活用を促進
- ・情報通信ネットワークを活用した就労機会の確保や企業等の誘致

### 観点3:生活に必要不可欠なサービスの確保(条例第6条第2項第3号)

#### ①交通手段の安定的な確保(4)…エ

- ・地域の維持に必要な生活道路の整備
- ・「富山県地域交通戦略」に基づく地域内モビリティサービスの確保に向けた取組みを推進

#### ②日常生活を支えるサービスの確保や取組の推進(4)…オ

- ・宅配、移動販売、買い物バスなどの買い物支援サービスを推進
- ・車道や歩道の除雪の充実や地域ぐるみで行う除排雪活動への支援など除雪の推進

#### ③医療・福祉サービスの確保(4)…ア～ウ

- ・医療・福祉を支える医師、看護師、介護人材などの専門人材を確保
- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようお互いに支えあう地域共生社会の推進
- ・地域包括ケアシステムの深化に向けて総合的な取組を推進

# 「第2期中山間地域創生総合戦略」策定に向けた「住民主体の地域づくり」の課題

## 現状・課題

- 第1期の取組みとして地域コミュニティの維持・活性化に向けて、専門家を派遣し、住民主体の地域の未来像に関する話し合いやアクションプラン(地域づくり計画)の策定を支援した結果、約9割の地域がプランを実施又は実施の検討をしている。
- 一方、地域によって異なる課題が生まれている。取組みを持続可能なものに発展させていくため、実状に応じた柔軟な支援が必要なのではないか。

## A地域

地域の話し合い



アクション  
プラン完成！ 取組み  
実施

旧校舎を活用した  
宿泊施設の運営



マルシェ



地域で新たな課題が出て  
きた。同じ課題を持つ地域  
と連携できないかな？

それに、アクションプランも  
改定の時期。取組みを  
ジャンプアップしたい！

複数地域との連携  
や取組みを飛躍さ  
せるための支援が  
必要では？

第1期中

第2期中

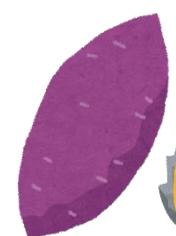
## B地域

地域の話し合い



アクション  
プラン完成！ 取組み  
実施

農産物の加工・販売



高齢者の見守り



補助金で取組み実施中。  
好評だし、住民の絆も生  
まれてきた。これからも続  
けたいけど、補助金が無くな  
ってもやっていけるかな？  
専門家に相談したい！

自走に向けた  
サポートが  
必要では？

第1期中

第2期中

## C地域

地域の話し合い



アクション  
プラン完成！

取組み  
検討中



アクションプラン実行に  
向けて課題が出て  
きた。  
専門家に相談  
したい！

アクション  
プラン実行に  
向けサポート  
が必要では？

## D地域

住民がみんな  
元気なうちに何  
かしたほうがい  
いと思っている  
のに、合意が得  
られない…

「話し合い」  
に取組み  
やすいよう  
な支援が  
必要では？

第1期中

第2期中

第1期中

第2期中